

令和3年2月17日

第113回女性に対する暴力に関する専門調査会

＜現状と課題の整理の骨子案＞

○仮題：DV対策の今後の在り方

○骨子案と記載すべき事項

【骨子案】	【記載事項】
はじめに	○検討の背景事情 ○DVの現状
I これまでの取組等 これまでの取組、近時のDVをめぐる動き	○DV法の制定～令和元年度法改正、最近の事業（パイロット事業等） ○コロナ下における対応（DV相談プラス等）
II DV対策の個別論点に係る現状	○現状の制度や取組（地方自治体含む） ○諸外国の制度や取組 ○他の検討の場における検討結果（加害者プログラムについて等） ○他の法令（ストーカー規制法、売春防止法）との比較や関係性 ○委員意見（その他の論点を含む） →III 今後の課題へ
1 通報対象となる暴力の形態と保護命令の申立てが可能となる被害者の範囲	
2 加害者更生のための指導及び支援の在り方	
3 DV対応と児童虐待対応の連携	
4 被害者の保護・自立支援や民間シェルターとの連携について	
5 逃げられない／逃げないDV対応について	
6 その他	
III 今後の課題	○委員意見、有識者ヒアリング等を踏まえた、今後の課題について ※附則検討条項に関する検討 ※DV防止法の限界 ※児童虐待対応に関する取組 ※民間シェルター支援に関する取組 等
おわりに	